

天白歴史探訪マップ 植田山・八事山コース 丘陵地の散策

「天白溪」

昭和の初め頃、名城大学の東から八事霊園北東にかけての一带が、当時、尾張百景の一つ「天白溪」と呼ばれ、市民の行楽地として賑わった。「上池」に水上飛行機が浮かび、「下池」にはボートがあり、山辺に料理屋、カフェ、芝居小屋、高級料亭「白水園」、大型の滑り台などがあった。現在は「上池」が埋め立てられて名城大学のグラウンドになり、「下池」は天白溪下池公園にわずかな小池を残すのみで、往事をしのぶものは無い。衰退の理由は、昭和7年7月の豪雨災害で「上池」が決壊し、遊園地が流出したことだった。



東連寺



栄久寺

「植田川」

長久手市に源を発し、上社で名東区に入り、地下鉄上社駅付近から南流して、天白区役所北側で天白川に合流し名古屋港へ。全長9.1kmの川。かつては流れる場所により「高針川」、「社川」とも呼ばれた。

「名城大学」

大正15年(1926)に名古屋高等理工科講習所として開設し、昭和24年(1949)4月、新制「名城大学」として開学。現在、10学部を有する総合大学である。天白キャンパス内には、地下1階・地上16階建、高さ75mの「タワー75」があり、15階の展望ラウンジから区内を一望することができる。

散策コースご案内

- 約13分 植田公園
- 約4分 稲葉山公園入口
- 約5分 稲葉山公園展望台
- 約4分 栄久寺
- 約7分 泉稱寺
- 約8分 全久寺
- 約22分 植田八幡宮
- 約11分 聖徳寺
- 約2分 浄久寺
- 約13分 東連寺
- 一心寺

※所要時間には個人差があります。



植田八幡宮

大学入口の時計台(柱青色LEDの発光ダイオードは理工学部教授の研究によること)

赤崎・天野・吉野ノーベル賞記念展示室

この辺りは次々とマンションが春の土筆のように建つ道標たよりに歩いた昔、八事山は淋しい雑木林

- 地下鉄出入口
- バス停
- 郵便局
- レスト 飲食店



天白歴史探訪マップ 植田山・八事山コース

丘陵地の散策

〈企画・作成〉天白ガイドボランティア歴遊会
〈監修〉(故)黒川光雄 〔発行〕天白区役所
〈初版〉平成25年(2013)3月 〔第2版〕令和3年(2021)3月
〔第3版〕令和6年(2024)3月

①「松雲山 栄久寺」真宗高田派

創建：文明12年(1480)、植田城主横地越後守秀綱家臣、室賀多聞が老後、今まで草庵であった当時の栄久寺の屋敷に御堂を建てたのがはじめ。室町時代九代将軍足利義尚の時代。天白川の度重なる洪水のため、文化3年(1806)、現在の地に移転した。

再建：明治24年(1891)、濃尾大震災で倒壊し、再建された。昭和から平成初年にかけて大修理が行われた。

本尊：阿弥陀如来立像
その他：鐘楼の鐘の真下に甕を埋め込んでいる。

②「常喜山 泉稱寺」真宗大谷派

創建：不詳。大永3年(1523)、天台宗から浄土真宗に改宗。天白川の洪水のため、享保19年(1734)、現在の地に移転した。境内は、当時墓地や、山林があったところという。

本尊：阿弥陀如来立像
その他：脇堂の「丈右衛門堂」格天井に油絵「雲」「天人」64枚が収められている。



③「福田山 全久寺」曹洞宗

創建：文明3年(1471)頃、植田城主横地秀綱が建立。天白川の度重なる洪水のため、寛政6年(1794)、現在の地に移転した。昭和48年(1973)、鉄筋コンクリートのモダンな本堂に建て替えた。

本尊：釈迦三尊仏(釈迦牟尼仏、文殊菩薩、普賢菩薩)

観音堂：廃寺の山野寺の本尊を祀る(十一面観世音菩薩像)傳教大師・作
その他：本堂屋根に相輪を設ける。境内に「表忠碑」八高同窓会 松井石根陸軍大将の名がある。

④「植田八幡宮」

創建：不詳。天正8年(1580)、植田城主横地氏の家臣、室賀久太夫が修造したといわれており、応神天皇を祀る。境内にある植田八幡社古墳は、社殿の改修で削られてしまったが、その大きさは、前方部40m、後円部の高さ6m、全長80mもあったといわれている。

祭神：応神天皇、初代植田城主横地秀綱、末裔の横地権蔵が合祀されている。

境内：大正天皇が皇太子時代、陸軍大演習を見学されたとき、愛馬「藤園」に御乗馬された場所に記念碑が建つ。

⑤「八事山 聖徳寺」真宗大谷派

創建：寛喜年間(1229～32)に美濃太浦郷に建立された。その後、永正年間(1504～21)に中島郡富田村へ、慶長7年(1602)に清須へ、慶長15年(1610)に名古屋東寺町へ、寛永15年(1638)に七間町へ移り、当地で戦災。平成5年(1993)、現在地へ移転。

本尊：阿弥陀如来
その他：天文22年(1553)4月下旬、富田の寺院で織田信長と斎藤道三が会見したことは歴史上有名である。鉄筋コンクリート造りの本堂は立派な建物。

⑥「宗源山 浄久寺」曹洞宗

創建：永禄11年(1568)、清須に建立。慶長15年(1610)、清須越えて南寺町へ。大正12年(1923)、現在地へ移転。戦災で山門以外焼失。以後、再建。堂内にある千手観世音菩薩の腹部には、悪七兵衛平景清(侍大将)が矢尻で彫ったという胎内仏が納められている。

本尊：大通智勝仏(如来)
境内：初代西川鯉三郎の碑がある。

⑦「日岳山 東連寺」曹洞宗

創建：天正2年(1574)、清須に開山。清須越えて南寺町へ。大正3年(1914)に現在地へ。昭和20年に戦災で焼失し、仮堂から、平成元年に木造建築で再建。

本尊：地藏菩薩
境内：「剣塚」があり、尾張刀工(尾州三作)氏房・信高・政常のうち、氏房・信高の墓は当寺に、政常の墓は近くの西光院にある。

⑧「即得山 一心寺」真宗大谷派

創建：明治32年(1899)に説教所として設立され、昭和33年(1958)、宗教法人「石坂教会」誕生。昭和37年(1962)、東本願寺より寺号許可となり一心寺を創建。昭和43年(1968)現在地に移る。本堂はビル2階建て。当時は八事地区の文化センターで、若い人たちが学んだという。

本尊：阿弥陀如来立像
その他：明治～昭和初期頃、石坂の湯豆腐の「近江屋」ができ、藤の棚下で賞味するのが人々の楽しみだったという。

